

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

- (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1
 - ① 学生の確保の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1
 - ア 定員充足の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1
 - イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要・・・・・・・・ p. 2
 - ② 学生確保に向けた具体的な取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 3
- (2) 人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 3
 - ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）・・・・・・・・ p. 3
 - ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 5

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

北翔大学短期大学部こども学科における直近5年間の合格者数、入学者数は令和2年度までは減少傾向にあり、令和元年度および令和2年度の定員充足率は0.7倍を下回る状況となっている。直近5年間の平均出願者数は125名、平均合格者数は124名、平均入学者数は107名、平均定員充足率は0.76倍となっている。【資料1】

従来の出願者数の推移からみると、定員を110名とした場合の出願者数の平均倍率は1.12倍であり、定員充足は可能であると見込んでいる。【資料2】

リクルート進学総研の「18歳人口予測（北海道：2020年～2032年）」によると、全国の18歳人口は、令和2（2020）年の116.7万人から令和14（2032）年には14.4万人減少し、102.3万人になると予測されている。本学が所在している北海道は、令和2（2020）年の45,674人から令和14（2032）年には37,985人となり、令和2年を100とした場合の割合は83.2%になると予測され、全国の割合より4.5%下回っており、人口減少の影響は受けやすいことが見て取れる。【資料3】

また、リクルート進学総研の「進学者数・進学率（現役）の推移（北海道：2011年～2020年）」によると、過去10年間で高等学校の卒業生数は6,581人減少している。進学先の比率は、大学が増加傾向にあり、短期大学の進学率は0.9%減少していることから、4年制大学志向が高まっていることがうかがえる。【資料4】

近隣の状況として、札幌圏内の保育者養成短期大学5校の過去2年間の入学定員の合計は令和元年度が570名、令和2年度が530名となっており、入学定員を減員した短期大学がある。入学者数の合計は令和元年度が398名、令和2年度が361名、定員充足率は令和元年度が0.69倍、令和2年度が0.68倍となっており、18歳人口の減少に加え、保育者を養成する短期大学への進学率の減少傾向がうかがえる。【資料5】

これらのことから、現行入学定員の140名から110名への変更は妥当と判断され、定員確保が可能であると見込んでいる。

※定員超過率が0.7倍未満の学科について（定員未充足の原因分析）

短期大学部のライフデザイン学科は平成24年度に前身の人間総合学科からの名称変更し開設したが、定員未充足の状況が続いている。原因としては18歳人口の減少や、社会情勢の変化により、短期大学ではなく4年制大学を志望する受験生が多くなったことが考えられる。このため、平成26年度から入学定員を80名から50名に変更した。また、令和2年度から従来の2コース（キャリアデザインコース、ファッション舞台アートコース）から、より学科の中身が分かるように3コース（キャリアデザインコース、ファッションコース、舞台芸術コース）とした。ライフデザイン学科では、学生が自らの将来に合わせてユニットを自由に組み合わせて履修できるユニット履修制を取り入

れている。教育の目的を科目群ユニットに反映させ、それぞれのコースの専門性を意識しながら、ユニットの組み合わせや時間割構成を検討し、教育の一層の充実を図り、就職及び就職後に反映させる人材養成を目的に、資格取得をより積極的に進めることで、今後も定員確保に努めていきたい。

大学の生涯スポーツ学部健康福祉学科は、平成26年度に前身の人間福祉学部の一部の学科を改組して開設した学科であるが、定員未充足の状況が続いている。原因としては、個性・特色の明示について十分周知されていないことが考えられる。このため、健康福祉学科では、健康と福祉を複合的に学べること、介護予防や子ども食堂など本学独自の取り組みを通じて実践的な学びができること、学生が学科の学びに満足していることをパンフレットやホームページを通じて社会に発信している。今回、令和4年度から入学定員を60名から40名に変更し、これまでの健康・介護福祉コース、社会福祉コースの2コース制から、スポーツ健康コース、介護福祉コース、社会福祉コースの3コース制に変更することで、定員確保に努めていきたい。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

本学こども学科は、保育士資格、幼稚園教諭2種免許状に加え、小学校教諭2種免許状の取得が可能な北海道で唯一の短期大学である。平成26年度からはコース制を導入し、保育コース、音楽コース、教育コースの3コースを開設し、指導者としての感性と人間性を豊かにする学びや実践的・体験的な学習を重視したカリキュラムを展開している。すべてのコースで保育士資格と幼稚園教諭2種免許状、教育コースではさらに小学校教諭2種免許状の取得を目指すことができる。また、先述の資格・免許のほかに、幼児体育指導者検定、幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格、こども環境管理士、社会福祉主事任用資格、准学校心理士の資格取得を目指すことも可能である。また、令和2年度からは、保育コースと音楽コースを統合し、保育コースと教育コースの2コース制に改編することで、取得可能な資格・免許をさらにわかりやすくし、受験者にも進路選択がしやすいように整備した。

コース制を導入した平成26年度以降の学生募集においては、各コースに定員を設定し、受験時にコースを選択することができるようにした。コース制初年度となる平成26年度の各コースの定員は、保育コース50名、音楽コース40名、教育コース50名に設定したが、保育コースの志望者が全体の約6割と多かった。平成27年度からは前年度の状況を踏まえ、保育コース80名、音楽コース30名、教育コース30名に設定した。その後、年度により多少ばらつきはあるものの、平成27年度から平成30年度までの保育コースの平均定員充足率は1.0倍となっている。令和元年度は入学者数がかなり減少したため、令和2年度から保育コースと教育コースの2コース制に改編したが、入学者数は増加することはなかった。改善策として令和3年度から入試制度を変更し、各

コースの定員数を撤廃して間口を大きく見せる工夫をしたところ、令和3年度の入学者数は前年より19名増加し、定員充足率も1.2倍増加した。令和4年度以降もさらに増加すると見込んでいる。【資料6】

また、本学短期大学部には、履修期間を3年または4年とする長期履修制度がある。これは、職業（アルバイト・パートを含む）を有している者、家事・育児・介護等の従事者、経済的理由により学納金の年間納入の負担を軽減したい者、勉学と部活動・課外活動の両立をするために時間を確保したい者、などが申請できる制度で、入学者の約15%近くが利用しており、その理由は経済的によるものが多い。長期履修制度は、近隣の保育者養成短期大学では珍しく、入学後に申請または取り消すことも可能なため、本学の特長の一つであるこの制度を希望する学生は今後も一定数を維持できるものと見込んでいる。【資料7】

従来の出願者数や合格者の推移からみると、110名の定員充足は確保できる見通しである。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学では、高校生や保護者に対するオープンキャンパスを毎年実施している。また、こども学科単独の進学体験イベントを年に1～2回開催し、保育者・教育者の魅力、大学・学科の特長、取得可能な資格・免許、長期履修制度、編入学や就職状況等について、学科相談および体験授業で説明を行っており、例年300～400名近い参加者がいる。【資料8】

令和2年3月からはコロナ禍により、市中感染が拡大している時期のオープンキャンパスの開催は中止せざるを得ない状況が続いており、参加者総数は減少しているが、令和2年度はオンラインによる学科相談を開設し、個別対応を実施している。

入学定員の確保に向けた具体的な取組として、広報活動の強化や入試制度の見直しを継続的に行ってきたが、さらに受験者の志望動機を高める方策を講じ、歩留率の向上に努めることとする。学校推薦型選抜の募集定員枠を広げ、特に指定校推薦の受験者を増やすと同時に、一般推薦の出願資格にある評定平均値の見直しを行い、定員充足につなげる。また、本学のアドミッションセンターとの協働により、学科パンフレットの作成、オープンキャンパスにおける在学生との交流、オンラインによる学科説明、北海道内の高校に学科教員が直接出向く出張講義などの広報活動のさらなる強化を図る。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

平成17（2005）年に、「こども学科」に名称を変更した際に、教育理念を「こどもを取り巻く環境や社会的な課題に関する洞察力を養い、教育・保育等に関わる優れた実践力を有する人材を育成する」、教育目標を「こどもの保育や教育及びこどもに関する諸

課題に適切に対処できる技術や実践力を身につけた人間性豊かな人材の育成」と掲げ、地域社会に貢献できる保育者・教育者の養成を行っている。平成 26（2014）年からはコース制を導入し、現在は「保育コース」と「教育コース」の 2 コース制を設置し、「保育コース」では、乳幼児の心身の成長や発達を学び、子どもの支援ができる専門性と実践力を身につけた保育士、幼稚園教諭の育成、「教育コース」では乳幼児・児童の心身の発達について理解を深め、幅広い教育法と指導法を身につけた保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の養成を行っている。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）は、下記のとおりである。

【知識・理解】

- ・感性豊かな、魅力ある人間性を持ち、社会人としての幅広い教養を身に付けている。
- ・保育・教育の分野及び保育、教育いずれかのコースでの専門的な学修を通して、保育者・教育者として社会に参加していくための実践的な知恵を身に付けている。

【思考・判断】

- ・自らの生涯設計において課題を設定し、その課題を解決するために、専門的な分野での学修を生かし、社会に役立てようと考察することができる。

【関心・意欲・態度】

- ・教育現場及び地域社会において、積極的に自身の学修成果を還元することができる。
- ・他者を尊重し、共生社会の実現に寄与することができる。

【技能・表現】

- ・保育者・教育者を目指す専門分野での学修を通し、高い職業的スキルを身に付けている。
- ・自身の考えや立場を他者に伝え、他者との調整ができるコミュニケーション能力を身に付けている。

こども学科において取得可能な資格・免許は、保育士資格、幼稚園教諭 2 種免許状、小学校教諭 2 種免許状、社会福祉主事任用資格、幼児体育指導者検定 2 級、保育園・幼稚園のためのリトミック指導資格 1・2 級、こども環境管理士 2 級、准学校心理士であり、上記のような能力を身につけた保育者・教育者を養成するための教育と研究が行われている。このたびの定員変更にあたっては、本学科の人材の養成に関わる目的及び教育研究上の目的を変更するものではない。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

過去3年間のこども学科の学生についての就職状況を示す。【資料9】

就職率は過去3年間において100%の年度もあり、専門職である保育士、幼稚園教諭、小学校教諭として就職する学生が圧倒的に多い。小学校教諭については、在学中に教員採用試験対策を実施し、現役合格を目指す取り組みもしている。毎年9割に近い学生が本学科で取得可能な資格・免許を活かした専門的職業に従事しており、概ね人材育成目標に沿った就職状況である。

近年、保育士不足の傾向が続いており、全国各地から求人票が届き、現在の学生数ではその要望に応えきれないほどである。不足気味な保育者の確保という観点からは、需要に対して供給量を増やしていかなければならないと考えるが、入学定員を減員し、よりきめ細かな指導による質の高い保育者・教育者の養成を行い、現場から求められる実践力のある人材を輩出することに意義があるものとする。【資料10】